



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION 9 ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

理事通信 2023年 2月号

編集 & 発行・西日本区理事事務局

- 理事メッセージ
- 西日本区強調活動（2月）
- 今月の聖句
- 2月強調月間T O F
- 各部便り
- 後期半年報
- 「国際会長」交代について
- クラブ周年行事案内
- キャビネット便り

◇主題 **原点を知り将来に生かす！**
Know the origin and utilize it in the future!

◇副題 **立ち上がれワイズ モットーと共に！**
Stand up Y's Men with our Motto!



第26代 西日本区理事
田上 正

皆様、お正月はいかがお過ごしだったでしょうか？ 私は年末12月29日9時から1月1日9時までの72時間訪問診療の当番でした。この間の訪問に要した車の走行距離は計222kmで訪問件数も平日並みで忙しく、コロナ感染の患者さんも多くなりました。

しかし、1月1日は元旦礼拝に参加でき、子供たちの一家を迎えての新年会ができました。恒例の初詣、走って3社詣ではこの2年間は1月2日または3日にしています。

第3回東西日本区交流会の準備は佳境を迎えました。実行委員会とプログラム委員会の2本立てで、月に2、3回のWEB委員会をしています。参加人数がそろそろ分かるので気になりますが、自分が担当する4奉仕活動団体フォーラムや「語ろうワイズの未来」の準備にエネルギーを注いでいます。

第26回西日本区大会は登録用紙の準備に取り掛かり、今月末には発送できそうです。実行委員会の本会のみならず、プログラム委員会や登録委員会にも出席するので、スケジュールもタイトになってきました。皆様に参加くださるようにお勧めしている責任を強く感じ、充実した西日本区大会になるように、実行委員会と協力して頑張ります。



1月8日の京都ウエスト・京都洛中クラブの合同新年例会と1月9日の阪和部合同新年例会に参加させていただきました。皆さま方との親睦を図るとともに、丁度日本を訪れていたチャーミングアジア・太平洋地域会長にお会いすることができました。3月10-12日のワイズメンズクラブ国際協会100周年祝会の準備も進んでいるようです。

1月18日に〇〇記念と書かれたボックス入りの花が送られてきました。メネットに「記憶はないの？」と尋ねられましたが覚えがありません。翌日熊本YMCA第500回常議員会に出席した際、送り主が熊本YMCAということが分かりました。メッセージカードを入れ忘れていたようでした。

ひとこと 「大吉」

1月3日、熊本市にある新開大神宮にお参りに行きました。ここは天照大神を祭っており、格式の高い神社と言われています。さてここでおみくじを引くと「大吉」が当たりました。幸先が良いと喜んでいましたが、やはりメネットに言われました。「私のおみくじは？」と。おみくじは他の人に引いてもらうものでなく、自分で引かないといけないと諭したところ「そうね」と納得してもらいました。

その後、朝のジョギング中に2回転倒し左ひざの同じ個所を打撲して挫傷を起こしています。「大吉」のご利益はどこに行ったのでしょうか？ 2月19日に大吉のピークが来ますように！

今月の聖句

マタイによる福音書12章12節

安息日に善いことをするのは許されている。



聖書の小窓 「遅刻のすすめ？」

イエスは安息日に人を癒されます。これは律法違反です。安息日は何もしてはならないと理解し厳格に守っていました。イエスは律法を守ることと、律法を生きることの違いをしめされます。どう生きるかを問われます。

ある宗教学者が「遅刻のすすめ」を書いています。毎日遅刻しなさいというものではありません。会社・学校では遅刻はゆるされません。1分の遅刻であっても、校門の扉に挟まれて死亡事故がおこる現代です。子どもたちは遅刻しまいとして必死です。朝ごはんも食べないで学校へいくのです。

その学者がいうには、「もし、いま登校途中で困っている人に出会ったら子どもたちはどうするだろう。きっと見捨てていってしまう。なぜなら、遅刻は悪いことだから。私は自分の子どもには、遅刻はいいことだ。困っている人を見捨てるくらいなら、どうどうと遅刻せよと言っている」と書いていました。そういう遅刻ならばゆるせます。何を大切にしているかという問題です。

私たちはどうでしょうか。一度「ねばならない」と思うとそれしかみえません。遅刻をするかしないかという問題ではなく、神との関係において何が正しいかを判断し決断していくことが大切です。ワイズ活動にも。

西日本区強調活動

2月

Time of Fast

断食のとき

今一度、献金の正しい理解を深め、
目標100%を目指しましょう。

伊藤 文訓 地域奉仕・環境事業主任
(長浜クラブ)



2月強調月間 TOF (Time of Fast: 断食のとき)



地域奉仕・環境事業主任 伊藤 文訓
(長浜クラブ)

皆さん今月はTOF (Time of Fast) の強調月間です。

ご存じのとおり、各メンバーが2月中に少なくとも1食分の食事を抜きその分の費用を献金しましょう!!
としています。

西日本区では今期1人あたり1,000円を事業目標に掲げていますから、100%達成<上半期半年報基準>で
1,297,000円(約10,000CHF)になります。(CHFはスイスフラン)

ちなみに、前期(2021-22年度)は12,849CHFで、YMI(国際協会)8エリア46区のトータル97,682CHF
の13.1%(第2位)を西日本区が献金していることとなります。これはたいへん誇れることだと思います。
今期も100%以上達成をよろしくお願いします。

<参考: トップはヨーロッパエリア・デンマーク区 23,990CHFでした>

さて、このTOF献金は、地域および全世界のYMCA・YMIの理念に即した地域や団体に支援資金として
活用されていますが、2016年以降は「SDG's」に沿った施策内容で、17の持続可能な開発目標に関わり
があることが必要となりました。もちろん、YMIとYMCAに関わる取組みであることが前提になります。

「TOFプロジェクトで資金を受けるには、以下の基準」を満たす必要があります!

- ① 困窮している人々やその人々を支援する人々に直接関わるもの
- ② 自助努力が行なわれていること
- ③ 施策内容を成功させるために必要なその他の資金を全て確保していること
- ④ SDG'sの17の目標に必ず関連していること

必ず地元のYMCAとYMI(ワイズメンズクラブ)の協力が奨励され、プロジェクト予算の20%以上を
管理運営費や給与に充ててはいけなさとされています。そして、資金援助を受けたところには2年以内に予
定の施策内容を達成しなければならないことになっています。西日本区のCS・FF資金の支援基準(運用
細則)と似ている点もありますね。

「2021年支援施策(プロジェクト)の一例」です

- 2021年5月 アジア・太平洋エリア<マレーシア> 13,373CHF
・疎外された人々のためのアーバンファームコミュニティーで地域レベルで食料安全
保証を構築するための農業プロジェクトに支援。
- 2021年6月 インドエリア <インド> 15,000CHF
・貧しいがん患者のための緩和ケアホスピスセンターの建設
- 2021年7月 インドエリア <インド> 14,297CHF
・最貧困層への食糧配給システムの構築
- 2021年8月 ラテンアメリカエリア <チリ> 14,947CHF
・若者と女性を教育するための小規模な在宅ビジネスの開発と運営

最後に支援先の選定については9月からオンライン申請が始まり(申請書は英語で提出)
翌年3月に締切、8月末までに国際議会で決定されるようです。

びわこ部

びわこ部 新春合同交流会

部長 林 宏一

日時：2023年1月15日（日）10：00～13：15

場所：多賀大社本殿および参集殿

“お伊勢参らば、お多賀へ参れ、お伊勢お多賀の子でござる、”というのは、今でいうコマースャルソングであろうか。多賀大社は古くから著名な神社で、祭神は伊邪那岐大神と伊邪那美大神の夫婦神で、伊勢神宮の天照大神の親神にあたり、延命長寿、縁結びの神として親しまれてきた。この日びわこ部26名が本殿に昇殿し、部と各クラブの発展についてご祈禱していただきました。

合同交流会プログラム：東康彦国際・交流主査 司会

林宏一部長 開会点鐘・挨拶

安田博彦直前部長 乾杯

渡壁十郎次期部長 閉会挨拶

参拝後の合同交流会では、参集殿に会場を移して幕の内弁当を味わいながらアルコールも頂戴し、賑やかに交流を楽しみました。アピールタイムに戸所岩雄西日本区財政監事から2月開催の東西交流会について参加協力要請があり、その他、部からは『びわこ部便り』の配付、情報伝達を行って交流会を閉会しました。



阪和部

3年ぶりに阪和部新年合同例会が開催されました

部長 正野 忠之

1月9日、成人の日に78名の参加者を得て阪和部新年合同例会が開催されました。コロナで3年ぶりの開催です。ホストしていただいたのは和歌山クラブの皆さん。和歌山の地での開催はいつもハートフル。最後まで優しさに溢れていました。阪和部会はオンラインでしたので、そこではできなかったバナーセレモニーや新入会員紹介などを盛り込んでいただき、そこかしこに部会との一体感を感じるプログラムとなり、私としては感謝の気持ちで一杯でした。

その合同例会を豪華参加者が盛り上げていただきました。田上正西日本区理事に出席依頼をしたのは次期部長の内藤陽介ワイズ。快諾をいただくと運も味方し、チャーミングアジア太平洋地域会長の出席も実現。同書記の前田香代子ワイズ、さらに大野勉直前アジア太平洋地域会長に加え、和歌山クラブの元会員で11月に和歌山県知事となられた（当選により退会）岸本周平県知事の来場による祝辞も合同例会を盛り上げました。阪和部始まって以来の豪華な年初めになったと思います。締め言葉は内藤次期部長。いつもですが頼もしい限りで次期が楽しみです。起承転結の「承」は進んでいます。

閉会後は、チャーミング会長を参加会長で囲んで喫茶のひと時。そして夜は大阪にある人気のお好み焼き店で会長をもてなしました。こいつは春から縁起がいい〜♪ 阪和部新年合同例会の報告でした。



写真提供: 土肥正明ワイズ、中井信一ワイズ

中西部

中西部合同新年会
第3回評議会報告

部長 福島 眞一

2023年1月14日（土）に中西部合同新年会を大阪YMCA会館2階文化ホールで開催しました。78名の方に出席していただきました。

私の開会点鐘のあと、この半年の間に亡くなられたワイズメン4名に黙祷を捧げました。開会祈祷、大阪YMCA総主事小川健一郎様のご挨拶、に引き続いて日本ウクライナ文化交流協会によるコンサートがありました。ウクライナ文化交流協会小野会長の奥様 ONO AKI さん、ウクライナから来日しているシイガーソングライターNASU さん、ギタリスト筒井裕之さん、ヴァイオリストREIKO さんによるコンサートです。ウクライナ民謡やウクライナ国歌が歌われました。ONO AKI さんは声量もあり“上手いな〜”と感動しました。NASU さんは、哀愁を持った歌声でやはり大変良かったです。

－【ウクライナは今】ロシアはなぜウクライナを侵攻したのか－と題して、日本ウクライナ文化交流協会会長の小野元裕さんによる講演がありました。12世紀頃からのウクライナと周辺国の攻防から、1991年の独立、ウクライナが核兵器を放棄したブタペストの覚書、ロシアのウクライナ侵攻へいたる歴史の解説があり、プーチンロシア大統領がなぜウクライナ侵攻を決断したのか、そして今ウクライナで行われているロシアの蛮行について話がありました。早くウクライナに平和が戻ってくることを祈っています。

当日の午前中に第3回評議会を開催しました。今回は主査・会長報告を無しにして、皆さんと「これからのワイズメンズクラブについて」をじっくりと議論しました。区費の改定について、昨年12月末までに理事提言に関する意見要望書を提出して頂くようお願いしていましたが、1クラブからしか提出はありませんでした。再度、理事提案の内容を説明し、各クラブでの現状と参加者1人1人の意見を言ってもらいました。反対だという方ももちろんいらっしゃいますし、経費削減で理事は2年間やり、区大会も2年に一度で良いのではとの意見もありました。しかし、メンバー減にはワイズメンズクラブの活動を活発にして楽しいイベントをもう一度増やしてこそ復活の道があるのだとの意見もありました。区費改定については過半の方がやむ得ないのではとのことでしたが、各クラブからもう一度提出して頂く意見要望書がどのように出されるのが楽しみです。活発に議論したことで、皆さんが中西部の活性化に共通の認識が出来たのではと思っています。



六甲部

六甲部 1月の歩み

部長 若林 成幸

新しい兔年が始まって、六甲部各クラブの動きに躍動感が見られます。
チャーミングアジア太平洋地域会長の六甲部訪問、西宮クラブと芦屋クラブの嬉しい入会式が執り行われ、宝塚のイベント動画がYouTubeで発信されました。
後半に入り、毎月、どこかで部・クラブの活動が計画されています。

◇六甲部

1月10日(火)神戸YMCAにAPPシェン氏を迎え、台北のワイズ事情・アジア大会のお誘い・六甲部の報告などの情報交換、その後、近くの酒店で酒の交わり、最高に盛り上がりました。



*西宮クラブ

1月13日(金)西宮クラブでの森川俊介氏(YMCA職員)の入会式が行われました。
YMCAとの連携プレイが一層スムーズになること必至。
これからが楽しみです。

*芦屋クラブ

1月18日(水)芦屋クラブで中島かおり氏(兵庫県議会議員)の入会式が行われました。
このクラブの例会には、毎回、何人かの会員のお友達が出席されています。そこでの良き出合いが入会に至ったのでしょね。
おめでとうございます。



*宝塚クラブ

1月14日(土)宝塚クラブ・市民クリスマスの動画が完成しYouTubeで配信。
スマホでQRコードを読み取りご視聴ください。



異次元の対策!?

部長 金子 敏郎

1月21日、西中国は評議会、EMCシンポジウム、新春合同例会を開催した。

EMCシンポジウムには塚本勝己EMC事業主任にも出席いただき、部の会員20人の参加で会を始めた。

西中国部には現在、21、6人、11人、4人、17人の5クラブがある。その各クラブの中には連絡主事が1人含まれている。

こうした状況を踏まえ、EMC対策を考えるというシンポである。

話の途中で主任から『**異次元の対策**』と言う意見が出された。その中のひとつは、人数が少なくなったクラブが部の役員を輩出できないようなことではクラブとは言え

ないではないかと。ついては他のクラブと合併なりし、最低限のクラブの形を作ることが必要ではないかと意見を投げかけた。

これに対して合併することにより両方が消滅するかもしれないとの意見もあった。

いずれにせよ、クラブを維持するための増員が見込めない、合併もできないということでは、後は自然消滅を待つばかり。

今、世の中の企業においても後継者がいない、従業員が不足などで、合併や廃業の道をたどる例も多い。

私たちもクラブの**合併**等、誰が進めるのかなど難しいかもしれないが、早急に対応しなくてはならないようだ。



2022-23 後期半年報					
部	クラブ名	正会員 主事除	主事	合計	特別メネット
中部	金沢	8	0	8	0
中部	名古屋	18	0	18	1
中部	名古屋東海	17	1	18	0
中部	名古屋南山	6	1	7	0
中部	名古屋グランパス	13	1	14	0
中部	とやま	16	1	17	0
中部				0	0
中部計	6	78	4	82	1
びわこ部	近江八幡	18	1	19	0
びわこ部	彦根	5	1	6	0
びわこ部	彦根シャトー	20	1	21	0
びわこ部	長浜	18	1	19	0
びわこ部	滋賀蒲生野	12	1	13	0
びわこ部	高島	5	0	5	0
びわこ部計	6	78	5	83	0
京都部	京都	21	1	22	0
京都部	京都パレス	53	1	54	0
京都部	京都ウエスト	43	1	44	1
京都部	京都めいふる	24	1	25	0
京都部	京都キャピタル	30	1	31	3
京都部	京都プリンス	17	1	18	0
京都部	京都センチュリー	6	0	6	0
京都部	京都ウイング	47	1	48	0
京都部	京都洛中	13	1	14	0
京都部	京都エイブル	13	1	14	0
京都部	京都グローバル	55	1	56	0
京都部	京都トップス	59	1	60	1
京都部	京都トゥービー	25	1	26	1
京都部	京都東稜	12	1	13	0
京都部	京都ウェル	12	1	13	0
京都部	京都ZERO	39	1	40	0
京都部	北京都フロンティア	17	1	18	0
京都部	京都ブラック	17	1	18	0
京都部計	18	503	17	520	6
阪和部	和歌山	17	1	18	1
阪和部	奈良	16	1	17	2
阪和部	大阪サウス	16	1	17	0
阪和部	大阪河内	7	1	8	1
阪和部	大阪長野	4	1	5	0
阪和部	大阪泉北	19	1	20	0
阪和部	和歌山紀の川	17	1	18	4
阪和部計	7	96	7	103	8

中西部	大阪	13	1	14	0
中西部	大阪土佐堀	12	1	13	2
中西部	大阪センテニアル	11	1	12	0
中西部	大阪西	12	1	13	4
中西部	大阪茨木	10	1	11	0
中西部	大阪なかのしま	13	1	14	0
中西部計	6	71	6	77	6
六甲部	神戸	16	1	17	10
六甲部	西宮	20	1	21	1
六甲部	神戸西	10	1	11	1
六甲部	神戸ポート	24	1	25	0
六甲部	宝塚	19	1	20	0
六甲部	神戸学園都市	11	1	12	0
六甲部	芦屋	15	1	16	0
六甲部計	7	115	7	122	12
瀬戸山陰部	姫路	6	1	7	0
瀬戸山陰部	岡山	16	1	17	0
瀬戸山陰部	姫路グローバル	9	1	10	0
瀬戸山陰部	米子	10	1	11	0
瀬戸山陰部計	4	41	4	45	0
西中国部	広島	20	1	21	0
西中国部	福山	5	1	6	0
西中国部	呉	10	1	11	0
西中国部	東広島	3	1	4	0
西中国部	岩国みなみ	16	1	17	0
西中国部計	5	54	5	59	0
九州部	長崎	4	0	4	0
九州部	熊本	20	1	21	2
九州部	北九州	5	1	6	0
九州部	福岡中央	13	1	14	2
九州部	熊本ジェーンズ	31	1	32	0
九州部	八代	7	1	8	0
九州部	鹿児島	9	1	10	0
九州部	熊本むさし	15	1	16	0
九州部	熊本みなみ	22	1	23	0
九州部	宮崎	5	1	6	0
九州部	熊本ひがし	10	1	11	0
九州部	阿蘇	13	1	14	0
九州部	熊本にし	13	1	14	0
九州部	熊本Nスピリット	13	1	14	0
九州部	熊本水前寺	10	1	11	0
九州部	熊本五福	10	1	11	0
九州部計	16	200	15	215	4
ユース	姫路Y3			0	
総計	75	1,236	70	1,306	37

会員数
特別メネット

1,306

37

西日本区理事 田上 正

今回の辞任にいたる直接のきっかけは、指名委員会において、K. C. サミュエル国際会長が、国際会計候補者の過去の T O F 補助金横領疑惑に関して単独で審査委員会を設置したことが、国際選挙の公正な実施に抵触すると判断されたことに起因します。

指名委員会は懲罰には関係なく、決定事項を国際執行委員会 I E O（国際執行役員）に通知するのみですが、I E O に通知をする前に会長が辞表を提出されています。

今回候補者の一人に関する不満がすべてインドから出ている国際会長に向けられ、メール、電話等で眠れない夜を過ごしていたようです。満を持して誰にも相談せずに審査委員会の設置を決定通知しています。

このことが、候補者の信用を損ね兼ねない、選挙に影響すると T M Jose から訴えがありました。指名委員会で協議した結果、審査委員会の設置はガイドライン 412 違反と決定されました。

この決定を受け、I E O の処分を待たずに国際会長は 2023 年 1 月 17 日辞任され、辞任を受けて定款に従い、デンマーク出身のウルリック・ラウリドセン次期国際会長が同日、国際会長に就任されました。

*ウルリック・ラウリドセン国際会長の主題、スローガンは以下のとおりです。

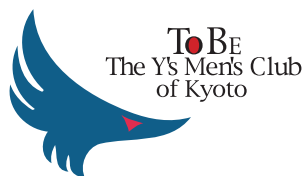
◇主 題 ‘Let Your Light Shine’ 「輝かそう、あなたの光を」

◇スローガン ‘Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation’
「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

-Our Motto-

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」



京都 ToBE ワイズメンズクラブ

25周年記念例会

日・2023年3月25日

場所・ANA クラウンプラザホテル京都

時間・17時30分開場、18時開会



登録費：12,000円

☆2023年6月10日開催の第26回西日本区大会まで あと

130日

熊本からちょっと、いや失礼、かなり有名な漫画家が誕生しているのを、皆さま、ご存じでしょうか？

その中でも、代表作品「ONE PIECE」で有名な尾田栄一郎、シニアには懐かしい「巨人の星」「あしたのジョー」「タイガーマスク」で有名な梶原一騎、「ケロロ軍曹」の吉崎観音、「ごくせん」の森本梢子などは有名な漫画家ですね。

今回は、世界でも名を馳せている漫画「ONE PIECE」で有名な尾田栄一郎を取り上げてみました。ワイズの中にもお好きな方がかなりいらっしゃるのではないのでしょうか？

1997年に週刊少年ジャンプで始まった連載「ONE PIECE」は現在もなお続いており、2015年には「最も多く発行された単一作家によるコミックシリーズ」としてギネス世界記録に認定されています。

2016年の熊本地震の後、「必ず助けに行く」というメッセージが尾田氏から熊本県に寄せられ、その言葉を原動力に『ONE PIECE 熊本復興プロジェクト』が立ち上がったのです。

尾田氏からは復興支援として多額の8億円もの寄付が寄せられ、その功績を讃えて熊本県民栄誉賞が贈られました。

そして2019年度からは、<麦わらの一味「ヒノ国」復興編>として県内10カ所にワンピース像が順次設置されています。

6月、熊本にお越しの際、ご興味のある方は、是非、ルフィー達とのご対面を果たされては如何でしょうか！

(M. U)



*参考資料: 熊本復興プロジェクト